



No. 143



たっくだより

秋号 2025.10.15

子ども発達センターたっく

住所：〒432-8006

浜松市中央区大久保町 5388-1

TEL : 053-485-6122

FAX : 053-485-6115

在園児 154 名 (10月1日現在)

◆児童発達支援 38名

◆放課後等デイサービス 60名

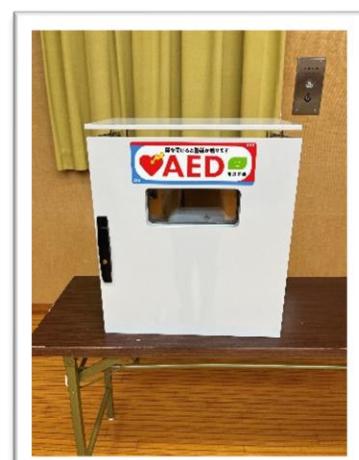
◆親子教室たっく 56名

地域交流

9月7日（日）大久保会館にて自治会の防災訓練・救護訓練に参加しました。

今回は年2回あるうちの1回目の訓練で、身近な毛布と竹の棒2本使っての簡易的担架を作ったの運搬訓練でした。「竹の棒は毛布の3分の2の所に置いて、かみ合わせがある方が丈夫になる」など、説明を受けながら行ないました。実際に運んでみましたが、確かに丈夫で体格の良い男性の方も運ぶことができました。「竹の棒がない時は端を丸めて持てばいい」など、いろいろな場面を想定した中の訓練でした。

その後は、消防署の方の説明を受けてのAEDの使い方の訓練。今年度から大久保会館の入口にAEDが設置されるため、その使い方を含めての訓練でした。AEDの蓋を開けると音声案内（全ての行程が音声で流れました）、心肺蘇生法のリズムまで入っていて誰でも操作しやすい物と感じました。大久保会館は、たっくで散歩に行く大久保公園の近くのでもしもの時は大変助かります。今回の訓練は、地域の方と一緒に「もしもの時」を考えることができた貴重な時間でした。また、地域の方と繋がる大切さをあらためて実感しました。



児童発達支援

7月～9月の様子

～水遊び～

水着に着替えて、色水・泡・絵の具・シャボン玉・泥遊びを行ないました。泥遊びの時には、泥水の上を歩いたり、お風呂のように浸かったり、寝転がったりと全身泥まみれになって遊びました。



～父親参観会～

父親参観で図書館に行きました。お父さんと一緒に本を読んだり、借りる本を選びました。「どれにする?」「救急車!」などお子さんとお父さんの関わりが見られました。

お父さん同士のお話会では、「習い事をしていますか?」「気持ちの切り替えが難しい時どうしますか?」など、それぞれ聞きたいことについて話しました。参加したお父さんからは「話せる機会があってよかった」「また参加したい」との感想がありました。次回の父親参観は12月にあります。多くの方のご参加をお待ちしています。

～栗拾い～

たっくの裏の駐車場に栗がなりました。
森田先生と一緒に栗のイガイガを足で踏んでむいて手で栗を取りました。
「栗ごはん作ってもらう」「食べられるの?」等、栗についてのやりとりする姿が見られました。



放課後等ディサービス

7月～9月の様子

～お店屋さんごっこ～

夏休み期間にお店屋さんごっこにて児発のこども達との交流を行ないました。交流する前に、自分たちがお店屋さんに行った時はどんな対応をされているか話し合いました。お店屋さんとして何を大事にするのか、どんな関わりをするのか考えて練習をしました。本番では、お客さんを案内したり、お買い物のやり取りなどで小さなお客さんにわかるように声をかける様子がみられました。



～食育活動～



8月は食育の活動を行いました。たまごぼーろや、餃子の皮ピザづくりを行ないました。手を洗ったり、テーブルを拭く等の清潔を意識して活動を行ないました。

自分で材料の片栗粉や砂糖をはかりではかりたり、混ぜ合わせたりの作業を行ないましたが、説明を聞いたり、見本を見て真剣な表情で取り組む様子が印象的でした。

～かき氷づくり～

2学期に入ってからも暑い日が続いているため、かき氷づくりを継続しています。始めの頃は、かき氷器のハンドルを上手く回せない子もいましたが、2人組になり、かき氷器を支えたり、力をかけながらハンドルを回す動作を繰り返し練習する事でカップいっぱいのかき氷を作れるようになってきました。



～活動を通して～

夏休みプログラムでは、時間にゆとりをもって活動ができるため、かき氷づくりやボードゲームなどを毎回とりいれることができました。その中で、こども自身が考えたり、工夫できることが増えてきたと感じました。今後も楽しみながら生活力がアップする活動を展開しこども達の自信に繋げていきたいと思います。

保育所等訪問支援

2学期が始まり早くも1か月が過ぎました。夏休みはどのように過ごしましたか？夏休み開けの訪問ではお子さんの成長や変化を園・学校の先生と共有する方が多くありました。様々な体験がこども達の中に積み重なっている証拠だと感じています。

2学期は登園日数も多く、行事やイベントが多く予定されていると思います。行事を楽しみに意欲的に取り組む子、慣れない練習や雰囲気に戸惑う子など子どもの姿はそれぞれ異なります。まずは、家庭・所属先の園（学校）・たっくがお子さんの様子を共有しながら適した環境や関わり方を見つけていきましょう。寒暖差が激しい季節ですが、生活リズムを整えながら、過ごしていくとよいですね。お子さんの成長や変化・家庭や所属先での心配事や気になっていることなど、気付いたことはいつでも職員にお声がけください。

食育活動について

7月は餃子の皮でピザ作り、9月はお月見団子作りをしました。

ピザは、餃子の皮にスプーンでやさしくケチャップを塗り、夏野菜をのせてホットプレートで焼きました。ミニトマト、ピーマン、チーズを自由にのせて仕上げました。自分から進んでピーマンをのせて食べられる子が多かったです。

お月見団子は、白玉粉を絹ごし豆腐でこねてやわらかいお団子にしました。ていねいに丸めてから少しづぼみを作り（くぼみ作りは難しかったです！）、なべの湯にそっと落とす体験をしました。『あんこ』か『きな粉』の好きな方を選んでトッピングをし、よく噛んで食べることができました。ぜひご家庭でも一緒に作ってみて下さい。

